

掛川市海岸線 地域ビジョン (概要版)



令和3年3月 掛川市海岸線地域ビジョン

掛川市 企画政策部 市長政策室
〒436-8650 静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1
TEL : 0537-21-1224

広大な海浜と潮騒の杜に抱かれた
「希望と活力にあふれる
新産業レクリエーションエリア」



策定の背景・目的

掛川市の海岸線地域を夢のあるエリアへ

- 東日本大震災以降、津波の被害が想定される海岸線地域は、全国的にマイナスイメージが先行していますが、掛川市を含めた多くの自治体でハード、ソフト両面の対策が進展しており、負のイメージの払拭が求められています。
- 掛川市の海岸線で進められている「掛川潮騒の社」は、完成後には、想定しうる最大クラスの津波を防ぎ、市民が憩い楽しむ「社」となります。
- 掛川市の海岸線地域は、人を魅了する遠州灘や南遠大砂丘、多くの事業所が立地する産業集積、特徴的な砂地農業、様々なスポーツ施設やシートピアの存在など、総合的に高いポテンシャルがあります。
- そこで、改めて、掛川市の海岸線地域の地域資源や魅力について整理し、多くの方々に掛川市の海岸線地域が持つ高いポテンシャルを認識してもらうとともに、将来に向け明るいビジョンを示す必要があります。
- このビジョンは、掛川市の海岸線地域が再び注目され、観光客を引きつけ、投資を呼び込むエリアとなり、もって、掛川市全体の発展につなげていくものです。

掛川市の海岸線に広がる魅力的な地域資源



ビジョンの位置づけ

- ビジョンは、約20年後を見据えて策定しています。
- ビジョンの対象範囲は、下図のとおり、概ね国道150号線の南側としますが、掛川市には多くの地域・人的資源がありますので、これら資源と連携して取組みを進めます。



掛川市海岸線地域ビジョン

掛川市海岸線地域の将来像と3つの柱

・掛川市海岸線地域の将来像と3つの柱を以下のとおり定めます。

広大な海浜と潮騒の杜に抱かれた
「希望と活力にあふれる
新産業レクリエーションエリア」
～ アフターコロナを見据えた事業展開 ～

1 海岸線を
活かし、
魅了する

2 海岸線で
楽しむ

3 海岸線で
働き、
生み出す

3つの柱の方針

1 海岸線を 活かし、魅了する

《人を魅了する雄大な海浜と潮騒の杜のグリーンベルトの活用》

- ▶ここにしかない遠州灘と南遠大砂丘の自然の魅力を発信し、人々を魅了します。
- ▶海岸線ならではの景観・海の幸・潮騒の杜を活かし、地域の魅力をさらに高めます。

2 海岸線で 楽しむ

《スポーツ・レクリエーションのメッカとしての拠点づくり》

- ▶スポーツ・レクリエーションをする人、みる人、すべての人が楽しめ、行きたくなるような海岸線地域を目指します。
- ▶次の時代を見据えたわくわくする取組みにより、海岸線で楽しんでもらえる工夫をします。

3 海岸線で 働き、生み出す

《地域特性を活かしたエネルギー・産業・農業の振興》

- ▶エネルギーや食の地産地消が注目されている中、海岸線の特性を活かしたエネルギー産業や農業の振興により、地域全体に好影響を与える海岸線地域を目指します。
- ▶新産業の立地促進や新しいライフスタイルの提案により、活力あふれる海岸線地域をつくります。

取組み

1 海岸線を 活かし、魅了する

《人を魅了する雄大な海浜と潮騒の杜のグリーンベルトの活用》

1-1 遠州灘と南遠大砂丘の自然の魅力発信・プロモーション



- 遠州灘と南遠大砂丘の雄大な自然の魅力を、掛川市の地域資源、観光資源として発信していきます。
- 自然保護団体などと協力してアカウミガメなど貴重な動植物の保護に取組みます。
- フィルムコミッション活動の推進などにより、海岸線の認知度の向上や魅力向上に繋がります。

1-2 遠州灘の豊かな海の幸を活かした賑わいの創出



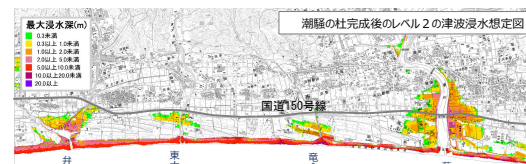
- 遠州灘ならではの豊かな海の幸の魅力を発信していきます。
- 掛川の海は絶好の漁場、釣り場であることから、その恵みを楽しむ地引き網などの食・体験・交流の場を創出していきます。
- 近隣施設との相乗効果により、大東マリーナのさらなる利活用を促進していきます。

1-3 美しい海岸と掛川潮騒の杜のグリーンベルトを守り・育む



- 有事の際には防災林となり、平時は潮騒の杜サポーター制度などを活用し、市民・企業・行政の協働で杜を育て、多くの人が集い、楽しむ杜にしていきます。
- 市民や企業と協働し、海岸に漂着したごみを拾うなど、美しい海岸を守っていきます。

1-4 正確な情報と森の防潮堤「掛川潮騒の杜」で不安を払拭



- 静岡県津波浸水想定などの正確な情報や、掛川潮騒の杜の整備効果を周知し、南部地域全体に及ぶ不安を取り除きます。

2 海岸線で楽しむ

《スポーツ・レクリエーションのメッカとしての拠点づくり》

2-1 海岸エリアのシンボル「シートピア」の民間活力による再生



- 海岸エリアのシンボル「シートピア」の譲渡先を早期に決定し、**民間の力を最大限活用した再生**を図っていきます。
- 「温泉が出る」という利点、さらには、海岸や運動公園、マリンスポーツ、オートキャンプ場、自転車道などの**地域資源との相乗効果で売り出**していきます。
- 海岸線地域に少ない宿泊施設、オートキャンプ場の充実を検討していきます。

2-2 日本を代表するサイクリングロードの整備・活用



- 掛川潮騒の杜の整備に合わせて自転車道を再整備し、**日本を代表するサイクリングのメッカ**にしていきます。
- サイクリストが集えるよう「バイク・フレンドリー・ステーション」の設置拡大や民間施設と連携した**サイクリストへのサービス拡充**を目指します。

2-3 掛川潮騒の杜のレクリエーション化



- 掛川潮騒の杜について、**子ども達の遊び場や公園**となるよう、アスレチック施設などの整備を検討していきます。
- 掛川潮騒の杜の管理道について、自転車道として活用していくほか、ジョギング・マラソンコースなど**スポーツ・レクリエーションの場**として活用していきます。
- 防潮堤の壁面をアートやスポーツ・レクリエーションの場として活用していきます。

2-4 日本のマリンスポーツのメッカへ



- 日本SUP協会、掛川市体育協会、サーフボードショップ等と連携して、**遠州灘全体をマリンスポーツの聖地**として売り出していきます。
- だれもが安全・安心にマリンスポーツを楽しめるよう魅力的なプログラムの充実と環境整備に取り組んでいます。

2-5 多彩なスポーツ施設のリニューアルと有効活用



- 公共施設マネジメント、スポーツや地域振興、健康増進などの総合的な観点により、**多彩なスポーツ施設のリニューアル**を進めていきます。
- スポーツ施設だけでなく、シートピアやオートキャンプ場など周辺施設と合わせ、**民間活力の導入も検討しながら一体的な整備や活用**を検討していきます。

3 海岸線で働き、生み出す

《地域特性を活かしたエネルギー・産業・農業の振興》

3-1 太陽光・風力などの再生可能エネルギーの利活用の促進



- 海岸線地域の自然環境に配慮しつつ、温室効果ガスの削減という大局的な見地から、**太陽光や風力などの再生可能エネルギーの利活用**を進めていきます。
- 2050年脱炭素社会構築を見据え、新たなエネルギー水素に注目し、**再生可能エネルギーを利用した水素製造**について、**技術を有する民間企業と連携して研究**していきます。

3-2 地域循環共生圏における再生可能エネルギーの供給拠点化



- 地域新電力事業の取組みを推進するなかで、**海岸線地域の風力や太陽光などの再生可能エネルギー施設を重要な供給拠点として活用**していきます。

3-3 将来を担う産業集積エリアの継続と発展



- これまで海岸線地域の産業を支えてきている**企業の操業環境や雇用確保の支援**を行うとともに、**将来を担う多種多様な企業の誘致**を進めていきます。
- 陸上養殖、水素関連など注目される**新たな産業の立地**を促進していきます。

3-4 地域特性を活かした農業振興



- 農業の多面性を生かした6次産業化、グリーンツーリズムなど、コト消費の選択肢として提供し、**都市と農村との交流**や、海岸線に広がる多様な施設と連携することで**新しいビジネス展開**などに繋げていきます。
- ロボットやAI、IoTなど先端技術を活用する「**スマート農業**」を推進し、さらに収益性を高めていくとともに、**農業の魅力化**も進めます。

3-5 多様なライフスタイルの実現に貢献する海岸線地域



- 近年の社会情勢を踏まえ、**二地域居住、ワーケーション**など**新しいライフスタイルを提案**し、海岸線地域がその拠点となることを目指します。
- 海岸線地域をはじめとする掛川市や暮らしの魅力発信により、**移住・定住を推進**します。
- 魅力あるヒトを増やし交流人口、関係人口の拡大を目指します。